

平成 31 年度事業計画

I 基本方針

公益財団法人として名古屋市の産業振興に寄与するため、中小企業のニーズを的確に捉え、名古屋市と密接に連携し各種支援事業を実施する。

先端技術の研究開発支援、産業応用のため、プラズマに係る技術支援等を行うとともに、国等の資金を活用しつつ産学行政の連携した共同研究・研究開発を支援する。

新事業支援センターにおいては、中小企業の経営や創業、新事業を支援するため、相談、研修、ビジネスマッチング事業を行うほか、小規模企業者の生産性向上に資する事業を実施する。

さらに、名古屋ビジネスインキュベータ等の創業支援施設を管理運営し、入居企業に効果的な支援を行う。

地域産業の発表の場、交流の場として見本市・展示会を関係団体と共同して開催するなど、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業経済の活性化を支援していく。

このほか、中小企業におけるものづくり人材の育成、技術・技能の継承の支援や賛助員企業の情報発信などに取り組む。

産業振興施設については、名古屋市中小企業振興会館、デザインホールの各施設が連携して一層の利用促進を図り、利用者ニーズにきめ細かく対応しながら、より効果的な管理運営を行う。

II 事業計画

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	予算額	39,400 千円
---	--------------	-----	-----------

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援する。

2	プラズマ技術産業応用支援事業	予算額	27,465 千円
---	----------------	-----	-----------

「プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）」の会員をはじめ、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業に対して、名古屋市工業研究所と技術相談やテスト処理・分析について連携し、プラズマに係る技術支援を行うとともに、地域の研究機関と連携して地域企業の振興に取り組む。

また、最新のプラズマ技術及び産業応用事例をテーマにした講演会や情報交換会等を開催して、プラズマ技術全般に関する情報提供を行う。

3	共同研究事業	予算額	158,788 千円
---	--------	-----	------------

過去に採択された、経済産業省の補助事業である「戦略的基盤技術高度化支援事業」については、大学、公的研究機関、中小企業等と連携し、引き続き着実に支援していくほか、「戦略的基盤技術高度化支援事業」を始めとする国等の提案公募型研究開発事業の新規採択を目指す。

4	研究開発促進事業	予算額	19,916 千円
---	----------	-----	-----------

「ロボット・ICT産業」や「環境・エネルギー産業」などの重点産業分野に係る先端技術について、技術情報の交換や課題解決を目的とした研究会を開催・運営し、産学行政連携による共同研究の実現、実用化・事業化をコーディネートするほか、なごやサイエンスパークに立地する研究機関相互の交流を図り、研究開発を促進する。

また、医療介護に関する機器・ロボットの開発及び普及を促進するため、産学行政、病院、介護施設等の連携による研究会を開催し、参入企業とのマッチングを支援する。

5	新事業創出支援事業	予算額	224,039 千円
---	-----------	-----	------------

(1) 相談、専門家派遣、研修事業等

中小企業経営、創業・新事業、BCP（事業継続計画）の策定などを支援するため、中小企業診断士等の資格を有するマネージャーが窓口相談を行うとともに、中小企業診断士等専門家を登録し中小企業へ派遣する。また、女性向け経営アドバイザーによる、女性起業家支援をはじめとした創業・経営相談を行う。

小規模企業の生産性向上による経営力の強化を図るため、設備投資に関する支援を行うとともに、経営アドバイザー・ITアドバイザーの訪問相談を行う。

さらに、創業に役立つ知識を提供するとともに、創業に向けた意識・意欲の向上を図るため、創業支援セミナーを実施する。

(2) ビジネスマッチング事業

新事業に取り組む中小企業の販路拡大や事業提携について支援するため、事業計画を発表する機会等を提供する。

(3) 創業支援施設の入居企業への支援

名古屋ビジネスインキュベータ金山、名古屋ビジネスインキュベータ白金、名古屋医工連携インキュベータの入居企業に対し、インキュベーションマネージャーを中心に総合的な創業・新事業支援や販路拡大支援を行う。

6	普及啓発・情報提供事業	予算額	109,018 千円
---	-------------	-----	------------

市民の科学技術に対する理解と関心を深めるため、研究施設の公開や成果の紹介等を行うなごやサイエンスひろばを開催するほか、ファッション情報の収集・提供、コンテスト、セミナー等によりファッション産業の振興とファッション風土づくりの推進を図る。

また、異業種交流による技術、市場に関する情報交換を図る。

7	産業人材育成事業	予算額	38,295 千円
---	----------	-----	-----------

工業技術に関する教育訓練、研修、講座等を開催することにより、従業員の技術及び技能の向上を図り、中小企業におけるものづくり人材の育成、技術・技能の継承を支援する。さらに、経営の視点から技術戦略を検討する人材育成にも取り組む。

8	工業技術情報提供事業	予算額	5,700 千円
---	------------	-----	----------

中小企業における工業技術力の向上を図るため、工業技術に関する指導及び相談を行うとともに、講演会、先進工場見学会の開催、情報誌の発行等により、工業技術に関する情報提供を行う。

また、賛助員支援事業として、賛助員企業の技術・製品等を広くPRするため、商品展示・カタログ展示を実施するほか、公社ホームページでの賛助員の企業情報発信に取り組む。

9	経済交流・誘致促進事業	予算額	225,003 千円
---	-------------	-----	------------

名古屋市を始めとする関係機関と連携し、情報提供等を行うことにより、外資系企業の誘致を促進するほか、新規の進出有望企業の発掘のため、国際見本市や展示会等の出展参加企業を訪問し、当地域への誘致を図る。

さらに、地域産業の発表の場、交流の場として、「第22回国際福祉健康産業展ウェルフェア2019」、「第7回中部ライフガード TEC 2019～防災・減災・危機管理展～」、「建設技術フェア2019 in 中部」及び「第9回次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO 2020」を関係団体と共同で開催するとともに、共催や後援、出展による参加など様々な手法で、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市を支援する。

10	関係団体事務受託事業	予算額	3,030 千円
----	------------	-----	----------

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行う。

11	産業振興施設の管理運営	予算額	941,948 千円
----	-------------	-----	------------

(1) 名古屋市中小企業振興会館

中小企業の振興及び産業貿易の促進並びに市民福祉の向上を図るため設置された名古屋市中小企業振興会館について、指定管理者として管理運営を行う。

(2) デザインホール

都心で小規模な多目的ホールを安価で提供し、地域の産業振興を図るため、デザインホールの管理運営を行う。

(3) 名古屋ビジネスインキュベータ

ソフトウェアやシステムの開発設計を行う中小企業などを育成、支援するため、創業支援施設である名古屋ビジネスインキュベータ金山（nabi/金山）、名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi/白金）の管理運営を行う。

(4) サイエンス交流プラザ

先端的産業分野における新技術・新製品開発を促進するため、サイエンス交流プラザの管理運営を行う。

【収益事業の実施】

1	施設管理附帯事業	予算額	42,598 千円
	名古屋市中小企業振興会館の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務等を行うほか、催事案内を掲載したイベントカレンダーの発行を行う。		
2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	予算額	73,011 千円
	名古屋市中小企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行う。		